

赤崎社協だより

赤崎地区
社会福祉協議会
印刷 株興和印刷

家族介護者教室 福祉出前講座

平成二十八年
五月二十四日
(火)に孤池団

地二丁目集会所において実施しました。平成三十一年(二〇一九年)には高齢者数がピークとなり、ひとり暮らし等の高齢者世帯や認知症高齢者の増加が見込まれています。そのため、地域での見守りや支援が必要な高齢者の増加が予測され、新たな福祉・介護サービス基盤の整備が更に必要になると思います。更に、地域に住んでいる皆様の「認知症に対する理解」が何よりも必要です。高齢者の方も、認知症になっても、いきいきと安心して暮らせるまちづくりを目指していくために、地域との協働連携を図りながら、事業に取り組んでいきたいと考えています。皆さん、認知症の方、その家族のサポートになって下さい。ご協力の程よろしくお願ひします。



赤崎地区社会福祉協議会 会長 角田弘之



今年度の役員改選期に際し、これまで8年間当地区社協の発展にご尽力頂いた北村会長から会長職を引き継ぐことになりました。北村会長が残された業績をしっかりと受け継ぎ、更なる発展に尽力する所存でございますので、前会長同様ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

今年度の重点取り組みといたしましては、“安全安心の地域づくり”と言うことで、災害が起きた時の対応が適切に取れるように事前の準備・訓練を行ない、イザと言う時の体制を整えたいと思います。具体策としましては、各町内会自治会の地域事情に沿った自主防災組織を立上げ、防災訓練や防災研修会を実施したい。

次に少子高齢化の対策として“高齢者のみまもり”に加え“子育て支援”に関する事業も織り込みます。

具体的には、民生委員を中心とした福祉協力員制を生かし高齢者の孤独感を出来るだけ解消する介護研修会や骨折等の予防を目的とした体力作り教室などを計画致します。

また、子育て支援と致しましては、子育て真っ最中の親御さんとそのお子様を対象としたイベントなどを計画し実施いたします。

今後も皆さんと一緒に当地区社協を盛り上げていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願ひ致します。



ごあいさつ

前会長 北村二郎



赤崎地区社会福祉協議会が設立し、10周年を迎えることができました。それには色々と苦勞がありまして、平成

17年に倉敷市社会福祉協議会より赤崎地区社会福祉協議会を立ち上げてほしいとの依頼があり、当時の倉敷市社会福祉協議会児島事務所所長井上氏と共に東奔西走し、設立までに約2年間を要し、平成19年11月にやっと設立の運びとなりました。以来、順風満帆にて10年間、そして赤崎地区社会福祉協議会会長として、片山瀧雄氏の後を引き継いでから約8年間、素晴らしいメンバーからの協力をいただきながら、大過なく職責を努めさせていただくことができました。これも地域の皆様のチームワークと団結力の賜物だと思っています。活動的な地区社会福祉協議会として当赤崎地区社会福祉協議会が挙げられることも多くあり、自分としては自慢の地区社協です。本当に私のような者にご支援をいただき、誠にありがとうございました。

最後になりましたが、これからも赤崎小学校区がより素晴らしいものになるよう心から願っております。

平成 28 年度 事業

防犯パトロール隊

私達、防犯パトロール隊員は、子ども達が安心して学校へ行け、勉強や運動が出来るよう学区内の重点地区に立ち、交通安全、不審者の見守りをしています。学校が力を入れている挨拶運動にも協力しています。子ども達は挨拶もよく出来ていて、元氣よく「おはよう!」「さようなら!」と言ってくれるので私たちも



転倒骨折予防教室

創心会リハビリ倶楽部児島センター長 土澤裕氏をお招きし、松池公会堂にて平成二十八年六月九日(木)、十六日(木)、二十三日(木)の三回シリーズで開催いたしました。

この教室で土澤氏より「運動して筋肉だけ鍛えるだけでは

なく、視覚も鍛えることも大切である。」ということを言われておりました。そこで視覚を強化するトレーニングも取り入れ、楽しみながら実践できたのではないかと思います。そして当地区社会福祉協議会においてはラジオ体操の普及に努めています。ラジオ体操は転倒予防.....

.....

活力を貰っています。新聞紙上をにぎわす事故、事件があると、その都度、緊張しますが幸い大きな事もなく胸をなでおろしています。これからも安心して登下校できるよう頑張ります。



の効果が期待出来るとして見直されています。寝たきりにならないために、そして健康寿命を延ばして最後まで元気に過ごせるようにしていくために平成二十九年年度もラジオ体操ならびに視覚の強化も踏まえ転倒骨折予防教室を開催していきたいと思えます。皆様、是非、ご参加下さい。

夏休み親子料理教室

毎年、夏休みの宿題がほぼ済む八月二十日頃を中心に行っています。子ども会を中心にして呼びかけをして、二十名くらいの親子を対象に実施しています。

参加者の親子さんは、いつも楽しそうにやってくれるので、私達、栄養委員もお役に立てたのだと思っています。また、今年度も計画していますので、御参加、よろしくお願いたします。



男性料理教室

かれこれ、やり始めて十年が過ぎます。最初は、どうなのかなと思いましたが、段々と手馴れてきて、女性より上手かな?と思われる方もおられます。

スーパーに行けば、何でもありますが「万が一」の時は料理が出来ないのは「悲劇かも?」と色々と例がありますので、今からでも遅くはありません。料理を学ぶチャンスを見逃さないようにしていただきたいと思えます。やる気になれば、男性の方が上手いかも!



友愛訪問

毎年、一月に七十歳以上の独居の方にお寿司をお配りしております。

九月に入ると、よく「今年のお寿司はいつ配ってくれるん?」とよく聞かれます。毎年、楽しみにくださっているのだと…。また、「あなたらがくれるお寿司はなんか知らないけど、おいしいんよ!」とも。

地域の高齢者は少しずつ増えています。私たちが訪問していても、そのように捉えることができます。高



高齢者の方が今の日本社会の礎を築いて



くれました。そういう感謝の気持ちを大切にしながら私たちも少しでも高齢者の方々が余生を楽しくていただけるよう活動していきたいと思

二世交代交流

お飾り作り

平成二十八年十二月九日、三世交代交流お飾りづくりをしました。毎年、子ども達が楽しみにしている事業です。児童からのお礼の手紙をご報告します。



りを教えてくださりありがとうございました。お陰で、すごく良い作品ができました。私たちは勉強を頑張っていくので、これからもお飾りづくりを頑張ってください。

●難しいけど、楽しかった。友達が助けてくれた。お飾りづく

大人顔負けの言葉をいただき、元気をもらったところ。玄関に自分たちで作ったお飾りを飾って、良い正月を迎えたことでしょう。

三世代交流

グラウンドゴルフ大会

私達、老人クラブのグラウンドゴルフ愛好者は赤崎地区社協の事業で三世代でのグラウンドゴルフ大会を開催できることに感謝しています。そして今回も小学生、その保護者らとシニアの三世代が阿津グラウンドに集まり、晴天の下でホールインワン又は優勝を目指して、あっちこちで歓声が起こり、楽しくゲームを行いました。沢山の商品や参加賞を貰って嬉しそうに帰る姿に今年度もまた開催できることが楽しみです。



三世代交流

あるこうかい

九月二十五日(日)、総勢八十七名の参加！コースは、風の道を歩き、下津井城跡までの往復でした。瀬戸内海の雄大な景色を満喫しながらも、変わりゆく町並や山々に幼き日々を懐かしく、楽しい交流の場となりました。運動指導員の先生と保健師さんには、安全と見守りで一緒に歩いていただきました。恒例の栄養委員と愛育委員のおもてなしも好評！スタッフの皆さんのご協力に感謝します。歩くことは健康の秘訣、皆さん、次回も歩きましょう!!



サロン活動

作家の五木寛之さんは、現在の日本社会と登山を比喻した話をしてきた。登山は登るときは地面を見、歯食いしばって歩き、苦しみを感ずるだけだ。頂上で達成感を得る。下山する時に風景の美しさを味わい、友と語り、下りを楽しむ時間に満たされる。

現在の日本社会はどうだろうか…、経済は頂点を極め、下降の一途だ。下降だからこそ楽しみを見出せば良い。私たちは、高齢者サロンを開き、音楽バンド、観劇を



企画し、楽しみ方を見つめる努力をし、携わってきた。やらされ感があり、何故か釈然としないところがあった。五木さんに導いてもらえた答えだ。高齢化、少子化等社会問題は多い下降社会だが、楽しみを見つけたし、大いに喜び、幸せを満喫した中で、人生の終焉を迎えれば良いと思う。

と

二世交代

もちつき大会

今年の冬は、「もちつき大会」の中止が相次いでいると、連日のニュースで流れていました。

長く続いた伝統を絶やさないためにも、赤崎小学校でもノロウイルスなどによる集団食中毒の予防対策に工夫を凝らしました。子ども達も手洗い、マスクの着用の大切さを学ぶことができ、良い経験になったと思います。この取り組みを今後も続け、



防災訓練

平成二十八年九月二十四日、南海トラフ地震を想定した総合防災訓練に赤崎自主防災として初めて参加しました。午前九時開始と同時に各町内会避難誘導リーダーの指揮のもと、指定避難場所である赤崎町民センターに約百五十名の町民が集結。点呼の後、消防団の指導による消火栓の接続や消防車による放水訓練のほか、子供たちも交えて

ちも交えて



のバケツリレーを真剣に行いました。また、婦人会の皆様によるウドンの炊き出しの後、防災勉強会を開催し、災害発生時の対応等について認識を深めました。

福祉講演会

平成二十九年三月十九日(日)児島公民館赤崎分館におきまして、児島市民病院の江田院長先生と産婦人科診療部長の多賀先生にお越しいただいて、福祉講演会を七十五名のご参加により開催しました。

まず、多賀先生より、子宮頸がんなど婦人科の疾患について、「何よりも早期発見、早期治療が必要！異常を感じたら早急に病院に来てほしい。」とお話いただきました。



江田院長先生は、新市民病院が来年の一月末の完成に向けて着々と建設工事が進んでいて、来年の三月中の開院を目指していること、「倉敷市唯一の市民病院として良質な医療を市民に提供します。」と熱弁いただきました。

高齢者交通安全 啓発活動の推進

平成二十七年年度から二年間の予定で児島警察署の高齢者の交通事故防止を図るための活動が赤崎小学校区となり、今年度も自治会ごと交通事故の防止のための安全教室、自転車教室、適性検査等が行われました。高齢者宅の戸別訪問では赤崎中筋、菰池自治会で行われております。また、赤崎小学校区の校庭で児島地区全体の体感フェアが盛大に行われ、老人会、婦人会等から多数のブースが出され、楽しませてくれました。御津の交通センターで行われた運



転競技には三名の六十五歳以上の方が参加され、腕前を披露してくれました。

くらしき心ほっとサポーター

私たちは
くらしき心
ほっとサポーター

倉敷市こころの健康づくり
マスコットキャラクター
「ほっとちゃん」



赤崎は、3名(H29年度)で精神障がいに対する意見をなくす啓発や心の健康づくりの推進を行なっています！

支えて守ろう こころといのち

こころの健康を保つために

こころの病気は、誰にでもなる可能性があります。こころの健康づくりに努め、心身ともに健康な状態を保つことは大切です。

自殺のサインを見逃さないで

自殺は衝動的に起こるようみにみえますが、行動に及ぶ前に何らかのサインが出されています。サインに気づき、適切な対応をすることで大切な命を守れるかもしれません。

福祉情報コーナー

- 障がい福祉サービスや年金などについて知りたい。
- 日中、過ごす場所がほしい。
- 新しい友人、話し相手がほしい。
- 将来におけて、準備したい。・・・など。



こんなときは！

こじましよう しゃしえん
児島障がい者支援センター
はばたき

住所 倉敷市児島駅前4-83-2
電話 086-472-3855
FAX 086-472-3852
メールアドレス
Kojima-shien@bz02.plala.or.jp
ホームページ
http://kgwc.or.jp/kojima-habataki/



★ふれあい号(児島循環線)
児島警察署前下車すぐ

※ご家族や地域の方も、お気軽にご相談ください。
電話・来所・訪問・同行など、様々なかたちで対応できます。
※季節行事やサロン活動のボランティアさんも募集中です！

愛育委員会からのお知らせ

6月から倉敷市の健康診査が始まります。受診時には“けんしん受診券”が必要です。今年度、胸部レントゲン受診会場が、1箇所変更になりました。
変更箇所：児島公民館赤崎分館(赤崎公民館)
→赤崎中筋公会堂西私有地
日時：平成29年11月16日(木)
13:20～14:20分

“生涯現役”を目指して
健診を受けましょう♡